

歯の相談室



あじま診療所歯科
歯科医師 右近 快平



受動喫煙と 虫歯



このほど、神戸市で行われた調査で、3歳時の虫歯発生率と受動喫煙に相関があるとの研究が発表されました。家族に喫煙者がいない小児に対して、家族に喫煙者がいて受動喫煙にさらされている小児は約2倍程度虫歯発生率が高いとのことでした。

虫歯の1番の原因はミュータンス菌等の感染だと考えられますが、その他生活環境(おやつの種類、おやつの回数、歯磨きの上手さ、回数など)、防御機能(歯のエナメル質の性質、唾液の性質、量など)の3つの原因のバランスが崩れた時に発生すると考えられます。その上で、上記の研究結果を考慮すると、様々な因果関係が考えられるとは思いますが、免疫力を低下させていると考えるのが、妥当なところではないでしょうか。煙草は皆さんご存知のように、自分だけでなく、大切な家族の健康をも害することを考えると百害あって、一利なしですね。